

浪江中学校 第45回卒業証書授与式

浪江中学校（二本松市）の卒業証書授与式が3月13日、二本松市東和文化センターで行われました。

卒業証書授与の後、卒業生は感謝の気持ちを込めて、家族へ卒業証書を手渡していました。また卒業生を代表し、有川佑美さんが、「浪中は‘たしかな心のふるさと’。たくさんのご支援に支えられ、多くの方からいただいた優しさを胸に、恩返しをしていきたい」と別れのことを述べ、11名の卒業生は家族、友人、仲間、在校生、学校の先生、支えていただいた多くの方への感謝の気持ちを胸に、学び舎をあとにしました。



卒業証書を家族へ



卒業生代表
有川佑美さん

浪江神社で火防祈祷

2月26日、浪江神社（浪江町大字権現堂地内）で町の無火災を祈念し、火防祈祷の神事が執り行われました。祈祷には、浪江町消防団第1分団第1部松崎保成部長ほか団員9名が参加しました。



祝 100歳おめでとうございます

3月3日、福島市にある特別養護老人ホーム「さわやかアイリス」で、末永シチさん（藤橋地区）が満百歳を迎えられ、県と町からお祝い状と記念品が贈呈されました。贈呈式には、ご親族の皆さんが集まり花束が手渡され、シチさんも大変喜んでおられました。いつまでも元気で過ごしてください。



叙勲伝達式が行われました

2月17日、役場二本松事務所（故）田中穂積さんへ叙勲伝達式が行われ、ご遺族が出席されました。

田中さんは、昭和48年5月から3期12年にわたり、町議会議員を努められ、地方自治振興に尽力されました。その功績により「旭日単光章」を授章されたものです。



常磐自動車道、全線開通しました

3月1日、常磐自動車道の最後の未整備区間だった浪江IC～常磐富岡IC間が開通し、東京圏から福島県浜通りを通じて仙台圏をつなぐ高速道路が、ついに全線つながりました。

常磐富岡ICで行われたオープニングセレモニーの後、サンシャイン浪江で行われた開通式典では、「思い切れば必ず遂ぐるなり」と刻まれた記念プレートが序幕されました（ならばPAに設置予定）。強い思いを持って取り組めば、東北は必ず東日本大震災から復興する、また復興させなければいけない、という思いが込められたものです。

また、式典後には貴布祢で開通祝賀会が、浪江ICでは15時の開通に合わせてセレモニーが開催され、常磐自動車道の全線開通を祝いました。



開通祝賀会（貴布祢）
室原郷土芸能保存会による獅子神楽、
ふるさと浪江踊り隊会による踊りを披露



浪江IC開通の様子



開通式典（サンシャイン浪江）

人から人へ、旅する人形が心をつなぐ

3月9日、滋賀県米原市近江公民館の山田裕美館長が役場二本松事務所を訪れ、同館のマスコットキャラクター「まいばーら」の絵本を100冊寄贈くださいました。

山田館長は東日本大震災後、人の心をつなげようと、「まいばーら」の人形がメッセージ手帳と一緒に人から人へ手渡しで旅をするという企画を立案。東京から始まった人形の旅は中国、九州などを経て、最後はここ浪江町役場二本松事務所の職員に届き、約半年の旅を終えて2013年3月に同公民館へ届けられました。その手帳に書かれた、さまざまな人の思いの込められたメッセージを後世に残したいと、1冊の絵本にまとめたそうです。多くの町民の皆さんにご覧いただけるよう、町の図書館等に展示予定です。



広報なみえ 2015.4.1



皆様の身の回りにある楽しい話題、
いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係
☎0243(62)4731

世界で一双しかない屏風

浪江町出身の日本を代表する民謡歌手、原田直之さん。その原田さんから、ご自身の後援会のひとつ「原田会ライオンズ支部」支部長、吉田博晃さんへ送られた数十枚の手紙が、このたび二曲一双の屏風となって浪江町に寄贈されました（2月18日）。原田さんの心温まる直筆メッセージだけでなく、添えられたイラストがすばらしく、吉田さんはこれを独り占めするのはもったいないと、屏風にしてくださいました。役場二本松事務所に展示していますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。



(22)